給食時間の食に関する指導展開例【小学校】

実施日　令和3年２月22日（※ふじっぴー給食実施日）

題材名　静岡県でとれた食べ物を味わおう

指導内容（本時のねらい）

地域でとれた食べ物の良さや生産者の思いを知り、地域でとれた食べ物に興味を持ち、尊重しようとする態度を養う。

食育の視点

【食文化】日常の食事が地域の農林水産物と関連していることを理解する。（知識・技能）

【食文化】地域でとれた食べ物に興味を持ち、尊重しようとする態度を養う。

（学びに向かう力・人間性等）

展開例

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 主な学習活動　☆留意点　★評価 | 資料等 |
| 導入展開終末 | １　今日は静岡県でとれた食べ物をたくさん使った「ふじっぴー給食」です。　　☆2月23日は語呂合わせでふじさんの日であることを説明する。２　今日の給食の中で「静岡県でとれた食べ物」はどれでしょうか？・給食の中から、静岡県でとれた食べ物を探す。・給食に使われている静岡県でとれた食べ物の食品名や産地を知る。（チラシに食品名を記入する。）☆実物や地図を見せ、関心を深める。３　今日の一押しは今年のテーマ食品の「さば」です。・「ふじっぴー給食」では静岡県内全域で多くの児童生徒が静岡県でとれたさばを食べていることを知る。☆県内の児童生徒数の約半数の17万人が食べていることを伝える。４　静岡県でさばがとれる量は、全国で何位でしょうか。①１位　②４位　③６位　　答え：②４位・静岡県ではさばがたくさんとれることがわかる。☆たくさんとれるさばを静岡県の子供たちに食べてもらうためにふじっぴー給食のテーマ食材が「さば」になったことを伝える。５　静岡県ではどのようにしてさばをとっているのでしょうか。・静岡県でさばをとっている様子を知る。☆チラシや動画を活用する。★静岡県産の食べ物の良さや生産者の思いを知ることができたか。６　これからも、静岡県でとれた食べ物を味わって食べましょう。　　★静岡県産の食べ物に興味を持ち、尊重しようとする態度が養われたか。 | ・チラシ・地図・地場産物の実物や写真・チラシ・チラシ・チラシ　・チラシ・さば漁の動画県教育委員会ＨＰ「ふじっぴー給食　さば」で検索 |

教科等との関連　５年社会「我が国の農業や水産業における食料生産」

６年家庭「１食分の献立作成」